

平成 24 年度
名張市事務事業評価報告書

平成 24 年 10 月

名張市考査委員会

目 次

1 . はじめに	1
2 . 評価の実施について	1
3 . 評価結果の総括	2
4 . おわりに	5
(別紙) 各事務事業の評価結果及び主な意見	6

1．はじめに

市の事務事業について、各委員の専門的な視点から評価を行う考査委員会も6年目を迎えた。市民の皆さんと一緒に、市の財務や事務事業について検討・評価を行い、今後どうあるべきかを考える機会にしたいとの思いから、本委員会のヒアリングは公開により実施している。

その趣旨にもとづき、各委員は、市民の皆さんと同じ視点に立ち、持続可能な魅力ある名張づくりを考え、考査するよう努めたところである。

本年度、ヒアリング対象でなかった各担当室も含め、本報告書の意見や提案を参考とし、長期的なビジョン・戦略を持ちながら、引き続き、事務事業の改善に向けて、創意工夫を図られたい。

2．評価の実施について

(1) 評価対象事業

評価対象事業は、事務事業シートを作成した 634 事業の内、平成 23 年度以前からの継続事業で、以下の視点により 19 事業を市が選定した。

- ・担当室の自己点検・評価（内部評価）により、有効性・効率性を高めるための工夫や取組の検討余地があると考えられる事務事業
- ・今後の事務事業の方向として、「新しい公」の取組拡大の可能性があると考えられる事務事業
- ・名張躍進や市政一新プログラム-完結編-の取組推進に係る事務事業

(2) 担当室へのヒアリング

事務事業シート及び関連資料の事前確認を行った上で、3 日間にわたって公開でヒアリングを実施した。

1 事業あたり 30 分の時間設定をし、各事業担当室から数名が出席するなかで、事務事業シートや関連資料に沿った説明がなされた。

その後、4 名の考査委員が職員に対しヒアリングを行い、事務事業の改善に向け、意見交換を行った。

なお、3 日間で延べ 33 名の市民が傍聴した。



(日程)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 平成 24 年 7 月 30 日 (月)
10:00 ~ 15:15 | ・開会、公開ヒアリングの説明
・事務事業の説明・ヒアリング
(企画財政部、市立病院事務局、伊賀南部環境衛生
組合事務局、産業部、上下水道部) |
| 平成 24 年 7 月 31 日 (火)
10:00 ~ 15:30 | ・事務事業の説明・ヒアリング
(健康福祉部、子ども部、生活環境部、教育委員会) |
| 平成 24 年 8 月 6 日 (月)
10:00 ~ 11:30 | ・事務事業の説明・ヒアリング
(総務部) |

(3) 評価の実施方法

事務事業シートの内容、関連資料及び担当室へのヒアリングを踏まえ、各委員が個別に今後の方向性等を評価し、その後、委員間の意見集約を図り、調整を行った上で、委員会としての評価を取りまとめた。

[評価区分(今後の方向性)]

- | | |
|----------|---|
| 継続(事務改善) | 事業の有効性・効率性を高めるため、現在の事業の展開方法(実施手法・内容、予算など)に工夫や改善を行って、継続して取り組む。 |
| 継続(現行) | 現在の事業の展開方法(実施手法・内容、予算など)で、継続して取り組む。 |
| 継続(拡大) | 優先性・緊急性等から、事業の拡大・重点化を図って取り組む。 |
| 休止・廃止検討 | 必要性や有効性等の観点から、事業のあり方について、休止・廃止等の検討を進める。 |

(4) 各事務事業の評価結果及び主な意見(別紙:P6~14)

3. 評価結果の総括

ヒアリングを実施した個別の事務事業について、担当室が行った内部評価と考査委員会で行った評価について、評価区分ごとの事務事業数及び構成比を比較したところ、次表のとおりとなった。

事務事業評価の主目的は、事業の廃止・コスト削減ではなく、事業内容や実施手法等の点検を行い、更に効果・効率的なものに改善していくことである。

シート作成を機会に、担当室内の職員間で現状課題等の認識共有や課題克服・成果向上に向けた議論を重ねることが必要であるとともに、「継続(事務改善)」と内部評価された各担当室におかれては、種々の工夫や改善策の着実な実践に努めてもらいたい。

評価区分(今後の方向性)	考査委員会ヒアリング対象 事務事業				(参考) シート作成	
	内部評価		委員会評価		内部評価	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
継続(事務改善)	9	47.4%	17	89.5%	118	18.6%
継続(現行)	9	47.4%	2	10.5%	334	52.7%
継続(拡大)	1	5.2%	0	0.0%	68	10.7%
休止・廃止検討	0	0.0%	0	0.0%	3	0.5%
H.24 事業完了(完了予定含む)	0	0.0%	0	0.0%	42	6.6%
(H.23 事業完了または他事業へ移行・統合)	0	0.0%	0	0.0%	69	10.9%
合計	19	100.0%	19	100.0%	634	100.0%

なお、考査委員会全体を通じての意見概要は、次の(1)から(3)のとおりである。

(1) 効果・効率的な事務事業評価に向けての再点検

市においては、平成22年度より内部管理及び施設等維持管理に関する事務を新たに評価対象とし、平成23年度からは特別会計及び組合会計の評価単位の細分化を行い、事務事業の有効性総点検に向けた取組を進められてきた。

このように評価対象事業の拡大に取り組んできたが、特別会計や企業会計については、収入全体の変動や一般会計予算からの繰入額等を意識した上で、支出管理が点検できるようシートのあり方を含め、再確認してもらいたい。

また、ヒアリング対象事業においては、1枚のシートに性質の異なる事業が多数混在するケースも見受けられたことから、次年度予算要求・編成に向けては、事業単位の再検証・整理に努め、事業の性質や関連性等も考慮しながら、事務事業の効果・効率的な評価単位、評価対象について検討を進められたい。

(2) 事務事業レベルでの中長期的・戦略的な目標設定

総合計画の目標達成に向け、事務事業シートには翌年度以降3ヵ年分の事業計画・予算等が記入されているが、全般的に中長期的な目標等を持たずに現在の延長が記載されているように思われた。顕著な例が人工数の記載であり、担当室内の業務の選択と集中を意識せず、人工数が算出されているものもあった。

言い換えると、長期的なビジョンを持って、どう戦略的に事業を進めていくかの視点が欠けており、事務事業レベルにおいても、5年後の姿を明確にし、いま何をすべきか、また、翌年度以降どのように取り組んでいくかを考える必要がある。

事務事業シートを公表することから、計画予算額など数値の独り歩きを警戒することは理解するが、各担当室においては、事務事業レベルでの中長期的な見通しによる目標

設定やコストベネフィット（費用便益）計算等の取組に加え、市民に説明できるプレゼンテーション能力の向上に努めてもらいたい。

（３）各担当者が事務事業の経営者

中長期的なビジョンを持ち、戦略的に事業を進めていくには、担当者一人ひとりが「私が市長から任された事務事業の経営者である」という主体者意識・意欲を強く持つ必要がある。

行財政改革を効果・効率的に進めてきたことから、人材が大幅に減少したことの反動はあると思われるが、市民の期待に応えるべく、現場での業務を通じて政策思考・マネジメント思考を習得してもらいたい。

なお、ヒアリングを通じて、事務事業のマネジメントの視点から気付いた点を以下に記したい。

国・県補助金を活用した事業

国・県補助金を活用した事業であっても、必ず市の財政支出は伴う。引き続き、安易な考えで事業着手せず、事業完了後の有効性・必要性・経済性（ランニングコスト等）及び現存の人的資源で対応可能な範囲を考慮し、国・県補助金を活用した事業に取り組みたい。

事業指標の再点検

費用対効果の観点から、実際に要した費用と成果・効果が分かる指標が設定されているか再点検いただき、設定指標の見直し・追加に向けた取組を進めてもらいたい。

加えて、設定目標が達成されている指標については、第２次目標を設定するよう改善に努めてもらいたい。

地域づくり組織等との連携

条例に基づく地域づくり組織の制度運用がなされているが、各担当室へヒアリングを行うと、地域づくり組織等との連携、取組姿勢が弱いと感じた。

地域づくり組織の協力を仰ぐことで、効果が発揮される事業も数多くある。例えば、地域づくり組織のエリア内の歴史的遺跡やストーリーは、当該地域づくり組織の資産でもあり、地域と手を繋ぎ、まちおこしに使っていくという発想やアクションを起こしてもらいたいと考えるが、そういう発想が見受けられなかった。

各部局では、未だに縦割りが強固に根付いているのかもしれないが、地域づくり組織に関わる業務は地域部だけの業務ではないので、職員の意識改革を図られたい。

4 . おわりに

平成 14 年 9 月の財政非常事態宣言以降、名張市においては、財政健全化緊急対策及び市政一新プログラム等の取組推進を図り、コストダウン、また、パフォーマンスアップに向けた行財政改革を進められてきたところである。

次のステップとしては、職員がもっと元気と勇気を出して、積極的に働くことができるシステムをどう組み立てるか、また、次世代生産或いは次世代再生のために効果がないものは見直し、将来世代のために新たな効果が見込める政策を柔軟に提案する、更には付加価値を開発していく、そのような段階に入らなければならないと考える。

魅力ある名張づくりに向けては、地域づくり組織等との協働が不可欠であることから、引き続き、職員の意識改革の徹底を図られるとともに、厳しい財政状況にあっても、事業の取捨選択などの工夫をされ、戦略的かつ重点的な施策展開を図りながら、名張の価値の底上げに繋がる事業推進に努められたい。

名張市考査委員会

委員長	中川	幾郎（帝塚山大学法学部教授、同大学院法政策研究科教授）
委員	岩崎	利彦（関西大学非常勤講師、大阪商業大学非常勤講師）
委員	楠井	嘉行（楠井法律事務所弁護士）
委員	廣野	一三（廣野一三税理士事務所税理士）

(別紙) 各事務事業の評価結果及び主な意見

[ヒアリング対象事務事業一覧表]

事務事業名	担当部局	担当室	頁
平成24年7月30日(月)公開ヒアリング対象事務事業			
防災対策費	企画財政部	危機管理室	P7
市立病院(病院事業会計)	市立病院	経営総務室	〃
収塵車管理費(經常分)	伊賀南部環境衛生組合	業務室	P8
バイオマスタウン構想推進事業	産業部	産業政策室	〃
麦・大豆・奨励野菜等団地化生産事業補助金	産業部	農林資源室	P9
名張市観光協会補助金	産業部	観光交流室	〃
百々生活排水処理施設管理費	上下水道部	下水道維持室	〃
平成24年7月31日(火)公開ヒアリング対象事務事業			
生活保護扶助費	健康福祉部	生活支援室	P10
紙おむつ購入費給付事業		高齢・障害支援室	〃
幼稚園管理費	子ども部	保育幼稚園室	〃
東山墓園事業費	生活環境部	環境対策室	P11
スポーツ活動振興費	教育委員会	市民スポーツ室	〃
生徒指導充実推進事業		学校教育室	〃
教育振興一般経費(教育総務室)		教育総務室	P12
小学校教育振興費(学務管理室)		学務管理室	〃
中学校教育振興費(学務管理室)		学務管理室	〃
平成24年8月6日(月)公開ヒアリング対象事務事業			
市史編さん事業	総務部	総務室	P13
自動車管理費	総務部	管財室	〃
情報システム運用管理費	総務部	情報政策室	P14

平成24年7月30日(月)公開ヒアリング対象事務事業

事務事業名	No.1130 防災対策費		
概要	防災対策にかかる一般事務経費。		
担当部室名	企画財政部 危機管理室		
担当室による内部評価	継続(事務改善)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>アンケート調査やハザードマップ作成など、他室や関係者と連携を図りながら事業実施しているはず。その点のPRや更なる連携を進めてもらいたい。</p> <p>当事業は地域づくり組織との連携を基礎とするため、その姿勢を示してもらいたい。また、ハザードマップの作成・配布に留まらず、地域づくり組織単位でマップを使用した図上訓練や避難訓練実施等の取組を促進してもらいたい。</p> <p>防災訓練参加者が少ないので、引き続き、参加者増加に向けた取組を進めてもらいたい。</p> <p>東日本大震災の教訓を生かし、民間支援が受けられるよう民間企業等との協定を増加させる努力をされたい。</p> <p>「自主防災組織の組織づくりの強化」など事業指標の設定を工夫されたい。また、市民に安心感を与える視点から、民間企業・地方公共団体別の協定締結数を補助指標として再掲した方が良い。</p> <p>地域づくり組織単位での協定締結など、住民レベルで進められる取組の働きかけもしてもらいたい。</p> <p>時間降雨量が60mm以上の局地的豪雨を想定し、どの集落が孤立するかなどのシミュレーションを行ってもらいたい。</p> <p>大災害・大洪水の際、市は動けないので、地域住民の力での対応が必要であることの更なるPRをしてもらいたい。</p> <p>アンケート結果を踏まえたり、人工数配分等を考えながら将来目標を設定し、平成25年度以降の事業計画を組立ててもらいたい。</p>		

事務事業名	No.7013-1 市立病院(病院事業会計)		
概要	<p>良質で高度な二次医療の提供と救急医療に重点を置いた地域の中核病院として機能を果たしてきたが、近年、医師不足が深刻な状況となり、医療体制はもとより、経営面においても医師不足が大きく影響し、厳しい状況となっている。こうした状況の下、市立病院改革プランに基づく経営健全化と医師確保を最重点課題として取り組みを進めるとともに、医療機器の更新や医師業務の負担軽減を図るなど魅力ある病院づくりに努めている。</p>		
担当部室名	市立病院 経営総務室		
担当室による内部評価	継続(事務改善)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>一般会計より年間12~13億円程度の繰出があるが、2次医療及び救急医療を担っていることから、必要な経費であると考え。市民が自ら医療を考えられるような情報提供やPRに努めてもらいたい。</p> <p>引き続き、医療安全対策を重視し、医師の働きやすい環境づくりや看護師・コメディカルの増員を検討してもらいたい。</p> <p>市内での潜在的患者数や動向・ニーズの把握、来院見込の試算による計画策定とともに、人件費比率、診療材料・医薬品費比率、減価償却費比率など他病院との比較・分析を行い、適正規模を検討してもらいたい。</p> <p>「医師確保」と「収益改善」は当初連動するかもしれないが、どの時点が最もコストベネフィット(費用便益)が高いか損益分岐計算を行ってもらいたい。</p> <p>「一般財源繰入額の減少」など病院の経営改善に繋がる事業指標の設定を工夫</p>		

	<p>されたい。 モンスターペイシエント、未収医療費回収等の対策に、引き続き、努めてもらいたい。 地域密着型病院として、地域及び地域ビジョンの事業との連携を図ることができないか意識しておいてもらいたい。</p>
--	---

事務事業名	No.7803 収塵車管理費(経常分)		
概要	管内の燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみの収集をはじめ粗大ごみ受付センターで集約された粗大ごみの各戸収集など、市民ニーズに対応した収集実施。		
担当部室名	伊賀南部環境衛生組合 業務室		
担当室による内部評価	継続(事務改善)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>不燃ごみの増加要因分析を行い、その対策を講じる必要がある。 ごみ収集の民間委託を更に進めるか否か、どの程度の割合とするか、ビジョンを明確にすべきである。 「新たな財源確保・受益者負担見直し」として検討されているクリーンセンター内の入浴施設有料化は具体的に進めてもらいたい。 ごみは生活課題であり、地域によりバラつきや個性がある。地域づくり組織と連携・協力が必要であることに加え、高齢者の多い地域では、決められた時間・場所にごみ出しすることが困難な場合があり、完全民営化となると、効率性優先となり融通が利かない場合がある。民間委託が先行している他市の失敗事例も調査研究してもらいたい。</p>		

事務事業名	No.1094 バイオマスタウン構想推進事業		
概要	資源循環型社会の実現と産業振興ビジョンにおける「環境産業創造プラン」の推進を図るため、策定されたバイオマスタウン構想を推進し、地域バイオマス資源の積極的な活用を行う。このための民間における事業実施に対する補助金支出や、バイオマスタウン構想推進協議会の運営を行う。		
担当部室名	産業部 産業政策室		
担当室による内部評価	継続(現行)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>バイオマスフォーラムの開催やそれ以外の啓発活動など、引き続き、市が主体となり、民間企業の関心が高まるPR活動に努めてもらいたい。 事業概要にバイオマスエネルギーの対象を明記し、努力されている内容をPRしてもらいたい。 バイオマス利活用に取り組む事業者・団体数の今後の推移と、取組のための計画が必要と考える。また、先進地の事例研究や導入に係る事業者へのインセンティブ付与等の検討に努めてもらいたい。 バイオマスエネルギーの使用、定着が主題であるため、各家庭におけるコンポスト設置比率など、細やかな指標設定を工夫されたい。 政策管理担当室として、全体の取組状況やデータ把握に努められたい。 民間企業の関心を高める手法を常に考え、例えば、一定期間は同内容の取組を継続するか、それとも変化を持たせるか、その方向性を考えてもらいたい。 「間伐材等の未利用資源」、「利用転換できる廃棄物資源」、「産業へ投入・転換可能な資源」等の分類整理、利活用状況の把握等に努められたい。</p>		

事務事業名	No.3046 麦・大豆・奨励野菜等団地化生産事業補助金		
概要	遊休農地、耕作放棄地を解消するため、集落営農組織等で地域的に麦・大豆・奨励野菜等の作付や景観形成作物を栽培した者に対し補助金を交付する。		
担当部室名	産業部 農林資源室		
担当室による内部評価	継続(現行)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>必要性・有効性は理解できるが、「市内小学校給食(パン)の小麦生産」だけをもって補助金の事業検証とせず、補助金交付対象・農家数・休耕地への植栽面積・補助金交付団体(農家)の栽培意欲や成果等を再検証してもらいたい。</p> <p>取組成果(小麦栽培)と事業指標(水田を活用した景観作物の植栽面積)が一致していないため、事業指標の設定を工夫されたい。</p> <p>休耕地利用による栽培面積増加が目的なら計画事業予算の増加となるが、それが困難ならば地産地消のための所得保障とし、事業目的を具体的に絞るべき。</p> <p>多少人工数を拡大しても、事業展開や将来見通しを考える取組が必要である。</p>		

事務事業名	No.3064 名張市観光協会補助金		
概要	観光産業の振興のため、名張市観光協会を中心として、観光資源の発掘や魅力あるまちづくりなど新たな取り組みをはじめ、情報発信や物産の振興など、市で取り組めない様々な事業を展開する。		
担当部室名	産業部 観光交流室		
担当室による内部評価	継続(現行)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>協会の一般社団法人への移行完了(平成25年11月末まで)に向け、協会のガバナンスの透明度向上など市は公益に軸をおいた支援が必要。</p> <p>運営補助から事業補助への転換を行い、プロポーザル実施や成果指標を基準とした補助金のインセンティブ制など、新たな事業の育成・展開による成果向上が図られるような手法を考えてもらいたい。</p> <p>観光客数や観光協会会員数の推移など、観光協会との協議・合意のもと設定指標を増やすとともに、運営補助と事業補助の成果の見える化を図られたい。</p> <p>他セクション等との連携は常に意識しておく必要がある。</p> <p>市・観光協会が中長期ビジョンを共有し、戦略的な取組を進めてもらいたい。</p> <p>伊賀市の運営状況の詳細調査・比較検討を行い、協会職員の専従体制強化と収益事業拡大に向けた戦略的な計画を示してもらいたい。</p> <p>限られた予算・人員で大変努力されているが、従来の事業方針が限界にきており、廃止も含め抜本的対策を講じる時期と考える。観光産業全体の売上から入る市の税収効果等マクロベースのコストパフォーマンス計算が必要。税収効果等方向性が明確となれば予算増額しても成果向上の可能性が高い分野である。</p>		

事務事業名	No.5009 百々生活排水処理施設管理費		
概要	百々地区 22 戸の生活排水処理施設(処理能力 36 m ³ /日)、管路、マンホール及びマンホールポンプの維持管理業務。		
担当部室名	上下水道部 下水道維持室		
担当室による内部評価	継続(現行)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>平成25年度以降も年間300万円の修繕計画としているが、平成7年度竣工のため、耐用年数経過後の方針など今後のあり方について検討してもらいたい。</p> <p>現在設定の事業指標は達成されている。次のステップとして、例えば、「机上計算で修繕見込100万円であったが80万円に抑制できた」など、工夫が必要だが、成果の分かる指標づくりを築き上げてもらいたい。</p>		

平成24年7月31日(火)公開ヒアリング対象事務事業

事務事業名	No.2058 生活保護扶助費		
概要	生活保護法に基づく生活保護業務。		
担当部室名	健康福祉部 生活支援室		
担当室による内部評価	継続(事務改善)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>真に保護を要する人を見極めるため、個人情報保護の問題に留意しながら、水道料金・税の滞納など、明らかな生活困窮者の早期発見・事前救済ができるよう関係機関との協定が必要と考える。</p> <p>事業の必要性・有効性は高いが、申請手続・調査手続の改善施策や不正受給者の対処についても、十分検討されたい。</p> <p>保護費抑制に向け、自立又は扶養義務の履行、保有不動産の活用(リバースモーゲージ)等の工夫をされたい。</p> <p>引き続き、保護費支給事務に追われることなく、自立促進事務との連携を図ってもらいたい。また、教育委員会所管の就学援助事務など他部局の事務事業との連携にも留意してもらいたい。</p> <p>就労支援による自立率上昇は高く評価できる。今後の見通しや自立のための施策など将来に向けた検討とともに、自立率向上への更なる努力に期待する。</p>		

事務事業名	No.7527 紙おむつ購入費給付事業		
概要	要支援、要介護の認定を受け、常時おむつを必要とする人に紙おむつの支給と使用後の回収を行う事業。		
担当部室名	健康福祉部 高齢・障害支援室		
担当室による内部評価	継続(事務改善)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>給付した紙おむつの使用状況の実態把握など年1回は現状に合わせた必要枚数の点検・試算が必要と考える。加えて、高齢化に伴う介護サービス利用者の増加が見込まれるため、紙おむつ利用者の将来見通しなど検討すべきである。</p> <p>事業指標について、サービス対象者数とサービス利用者数の割合・推移を把握するなど成果の取り方を工夫されたい。</p> <p>他自治体の給付量・自己負担額など制度調査や比較を行い、高額でない程度の負担金見直しは必要と考える。低負担金は利用者に喜ばれるが、今後、拡大・増加が見込まれるため、適切な受益者負担を考え、制度設計してもらいたい。</p>		

事務事業名	No.5041 幼稚園管理費		
概要	公立幼稚園(市立名張幼稚園・市立桔梗南幼稚園)に係る維持管理等一般経費。		
担当部室名	子ども部 保育幼稚園室		
担当室による内部評価	継続(事務改善)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>入園者数は2園で目標350人に対し実績150人前後であり、公立幼稚園が2園必要か、1園廃止や保育園転用、民間委託も含め再検討されたい。併せて、保育園の待機児童問題があるなかで、幼稚園の希望者が少ない理由を再検討されたい。</p> <p>国の制度や法律改正の動向に注視し、幼保一元化への見通し・取組を明確にすることが大切である。待機児童数の現状と幼稚園入園希望者数、保育所入所希望者数の実態に基づき、将来の基本的な方向性を示す必要がある。国の制度が完備されれば、すぐに実行に移せるようにしておいてもらいたい。</p>		

事務事業名	No.7003 東山墓園事業費		
概要	全 3,211 区画の墓所・休憩施設・附属施設の維持管理、第 4 期工事で完成した 482 区画の年度計画による貸付事務。		
担当部室名	生活環境部 環境対策室		
担当室による内部評価	継続(事務改善)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>必要性は高いが、「先祖を追想できる適切な環境整備されていると感じる市民の割合」が 50%前後であることに対する分析が必要と考える。</p> <p>墓園面積を拡大しないなら、維持管理委託方法の検討等による改善ができるかなど、ランニングコストも含めた将来の長期的事業計画の検証が必要である。特別会計事業の全体像を把握し、積立基金活用による事業運用が何年継続できるかなど、人工数を投入してでも収入・支出の経営計画の策定が必要である。</p>		

事務事業名	No.1173 スポーツ活動振興費		
概要	体育・健康フェスタ開催、名張ひなち湖紅葉マラソン大会開催、名張青蓮寺湖駅伝競走大会開催、美し国三重市町対抗駅伝参加、スポーツ振興推進業務事業（関係 4 団体に合ったスポーツ振興プログラムの事業委託）実施等。		
担当部室名	教育委員会 市民スポーツ室		
担当室による内部評価	継続(事務改善)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	<p>成果検証が可能な指標設定が必要。「スポーツ参加者の体力向上度」や「医療機関への受診率低下」、「年間を通じて毎週のスポーツ参加度合い」など、指標設定の工夫を図りたい。</p> <p>引き続き、参加料の適正な収入、企業協賛への取組強化に努めてもらいたい。委託事業の総括・評価・報告は、引き続き、きちんと行い、会員間の懇親や交流等の経費が紛れ込まないよう留意してもらいたい。また、事業委託の性格を明確にし、予算増額になったとしても適切な事業内容の精査をしてもらいたい。市の関与は団体育成と考える。民間活力を更に生かす仕組みなど、継続した改善・工夫をお願いしたい。</p>		

事務事業名	No.1147 生徒指導充実推進事業		
概要	将来、社会に適応する子どもを育てる場として、学級集団や学年・学校の集団づくりを活かし、いじめや不登校が生まれない望ましい人間関係づくりを育てていく取組を進めていく。また、特別支援が必要な児童生徒や、不登校や問題行動を示す児童生徒の個別対応についても、集団の中での位置づけが大切であり、自己有用感や他者理解を深め自己有用感を高める取組により、いじめの未然防止を図っていく。		
担当部室名	教育委員会 学校教育室		
担当室による内部評価	継続(現行)	委員会評価	継続(現行)
各委員の主な意見	<p>いじめや不登校の未然防止のため、教職員の普段の児童・生徒動向等の調査報告の併用など活用できないか検討してもらいたい。</p> <p>Q-U調査の分析や活用状況の具体的内容が分かりにくい。本システムによる不登校出現率の低下、その要因について論証できるようにしてもらいたい。</p> <p>学級満足度調査活用検討委員会への専門家活用や課題検討等を行い、成果を期待したい。また、市独自のいじめ・不登校防止システムとして、期待したい。</p> <p>地域づくり組織との連動やバックアップというものを考えてもらいたい。</p> <p>引き続き、小学校での出現率が平成 23 年度に反転上昇している原因分析に努めてもらいたい。調査効果があり、今後とも継続の必要性があると考えます。</p>		

事務事業名	No.6102 教育振興一般経費(教育総務室)		
概要	学校教育にかかる配置臨時職員の賃金、社会保険料及び旅費。 [対象者]自立支援員、学習サポーター、臨時栄養士(小中学校に配置)、教育研究所嘱託員、教育専門相談員(教育研究所に配置)、不登校自立支援補助員(適応指導教室に配置)、学校図書館充実支援員(教育委員会事務局に配置)		
担当部室名	教育委員会 教育総務室		
担当室による内部評価	継続(事務改善)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の主な意見	配置が適正か否か検証し、計画的採用に努めてもらいたい。 任用臨時職員の必要性・有効性・効率性を検証する成果指標の設定が必要。 名張市教育研究所事業における相談事業の一元化の効果、地域ビジョンの計画内容と連携した取組など具体的内容を明確にされたい。 「教育よろず相談」の件数が少なすぎることの要因分析が必要である。 有効性や効率性を高める工夫として、研修会等を通じた職員の指導力向上を図る取組は評価したい。		

事務事業名	No.1153 小学校教育振興費(学務管理室) No.1156 中学校教育振興費(学務管理室)		
概要	[小学校教育振興費・中学校教育振興費 共通内容] ・<理科等教育設備備品>国の理科教育設備整備費等補助金を活用し、理科、算数及び数学に関する教育実施のための設備整備。 ・<就学援助>経済的理由で就学困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・通学費・医療費・学校給食費(小学校のみ)を支給。 ・<特別支援教育就学奨励費>特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者の内、世帯の所得が生活保護基準の2.5倍以内の方に対し、学用品、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費(小学校のみ)を支給。 [上記の共通内容に加わる中学校教育振興費の内容] ・<体育・文化クラブ報償>中学校体育連盟等主催の体育大会及び中学校文化大会参加のための、公立中学校生徒の必要旅費等の支給。 ・<中学校体育連盟等負担金>三重県中学校体育連盟、伊賀地区中学校体育連盟及び名張市中学校体育連盟への公立中学校生徒数に応じた負担金交付。 ・<長瀬地区臨時バス運行委託>名張中学校から長瀬地区への帰宅時の通学手段として、授業終了時間に応じ、必要なバス臨時便を運行(H18~)。		
担当部室名	教育委員会 学務管理室		
担当室による内部評価	継続(現行) 継続(現行)	委員会評価	継続(事務改善) 継続(事務改善)
各委員の主な意見	現在の事業単位では、性質の異なる事業内容が多数混在しており、今後、事業単位を分けて整理し、評価する必要がある。現状では、就学援助と教材備品購入の支出に関連性がないにも関わらず、就学援助が増えれば、教材備品購入予算が少なくなるように見え、誤解を招く。 用途や保護者の経済状況等について定期的な調査を行い、援助目的に沿うような支出がされているか検証されたい。併せて、保護者にきちんと使用されているかの検証も必要である。 理科教育設備備品に係る指標設定がないなど、事業指標と事業内容の関連性が不明確である。例えば、就学援助の生徒に支出をしているので、就学援助による修学旅行の参加など、適切な指標設定に努めてもらいたい。 本事業内の就学援助や特別支援教育就学奨励費等に関する業務は、健康福祉部所管の生活保護業務とも関連している。他部局の事務事業との連携にも留意しながら、適格に援助対象を把握し、公正な支出に努めてもらいたい。		

平成24年8月6日(月)公開ヒアリング対象事務事業

事務事業名	No.1005 市史編さん事業		
概要	「名張市史」の編さん・刊行及び歴史資料の収集・整理・保存を行う。		
担当部室名	総務部 総務室		
担当室による内部評価	継続(拡大)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の 主な意見	<p>経費抑制の点から、ウェブ利用検討や書籍在庫解消、有料購入促進に努めてもらいたい。</p> <p>観光部門、教育委員会の活動との連携・協働を密にし、必要によっては発掘調査等の攻めに入ることも考えるべきである。</p> <p>市史編さんによる歴史の掘り起こし・顕彰と、地域づくり組織を基盤としたまちづくりと連動させる視点が必要である。具体的には、各地域づくり組織のエリア内の歴史的遺跡やストーリーは当該地域づくり組織の資産でもあるので、地域と手を繋ぎ、まちおこしに使えるものは使うというレベルまでアクションをおこしてもらいたい。</p> <p>市民の関心の高い近世・近代部門の埋もれた資料を地域づくり協議会と連携し発掘・公開するなど、地域住民の参加意識を高める取組も必要である。</p> <p>専門的知識の向上に要する研修費等を計上し、より多くの市民が参加できる研修・広報活動の展開を検討されたい。</p> <p>著作権に十分留意し、リスク管理を行いながら編さん業務を進められたい。</p> <p>名張への愛着・誇りに繋がる方策が必要で、具体的な取組を進められたい。また、その戦略を事業指標で示すとともに、事業内容と成果が分かる指標の見直しに努められたい。</p> <p>若い世代に対する啓発・学習にもっと注力すべきと考える。補助指標として、「名張の歴史を知る若者たち」の分析を加えるなど検討されたい。</p> <p>データベース化は方向として正しいと思うが、最終年度までを見通した長期計画を示してもらいたい。</p> <p>少ないスタッフと職員の専門性の点から、長期継続的な事業であることを考慮し、何らかの工夫・改善が必要と考える。編さん業務やPR業務等に要する仕事を精査し、予算の範囲で効果・効率的な業務配分に努めてもらいたい。</p>		

事務事業名	No.5002 自動車管理費		
概要	庁用車両(公用車)の維持管理事業		
担当部室名	総務部 管財室		
担当室による内部評価	継続(現行)	委員会評価	継続(事務改善)
各委員の 主な意見	<p>公用車全体におけるリース車両・所有車両の割合とその費用対効果(リース・所有車両の効率的な比率、各車の燃費・稼働率、廃車までのライフ・コスト計算など)の分析を行い、平成25年度以降の経費削減策を明らかにしてもらいたい。</p> <p>バイオマスタウン構想と関連させ、バイオマス燃料の公用車への活用・PRを検討されたい。</p> <p>有料広告や廃車の入札など評価できる工夫も行っており、一層の努力を期待したい。</p> <p>事業指標について、「総コスト軽減」の指標設定も必要と考える。</p> <p>自家用車借上制度は良い制度と思われるので、有効性・効率性について十分検討されたい。</p>		

事務事業名	No.6010 情報システム運用管理費		
概要	総合住民情報システム・戸籍システムなど住民情報関連システム（約50システム）の運用管理及び稼働維持、住民基本台帳法等の改正に伴う住民情報関連システムの改修及び機器更改、先のシステムに係る機器及びパッケージソフトの賃貸借、保険証・税納付書などの印刷及び出力作業、統合型行政内部情報システムの運用管理。		
担当部室名	総務部 情報政策室		
担当室による内部評価	継続(現行)	委員会評価	継続(現行)
各委員の主な意見	<p>セキュリティ対策の強化に向け、「情報セキュリティ研修を受講修了した職員の割合」の早期向上に努めてもらいたい。</p> <p>設定目標が達成された事業指標は、企画財政部とも協議し、第2次目標の設定を行う必要がある。</p> <p>宇治市等の判例を参考にするなど、電子化推進に伴う個人情報保護、危機管理対策に十分留意してもらいたい。</p> <p>自治体クラウド導入に向けた継続的な取組とともに、市民へのメリット・デメリット等の周知、セキュリティ面での理解活動等も目標として進められたい。</p> <p>関係部署と連携しながら、社会保障と税の一体改革に伴うマイナンバー制度に対する市民への周知状況等の把握に留意してもらいたい。</p> <p>複数年の運用管理経費も含めた入札実施など競争原理の働く工夫をシステム入替の該当年度には実施してもらいたい。</p> <p>庁内電子決裁率が上昇推移にあり、効率性は向上している。種々の努力をしているが、より一層の努力を期待したい。</p>		